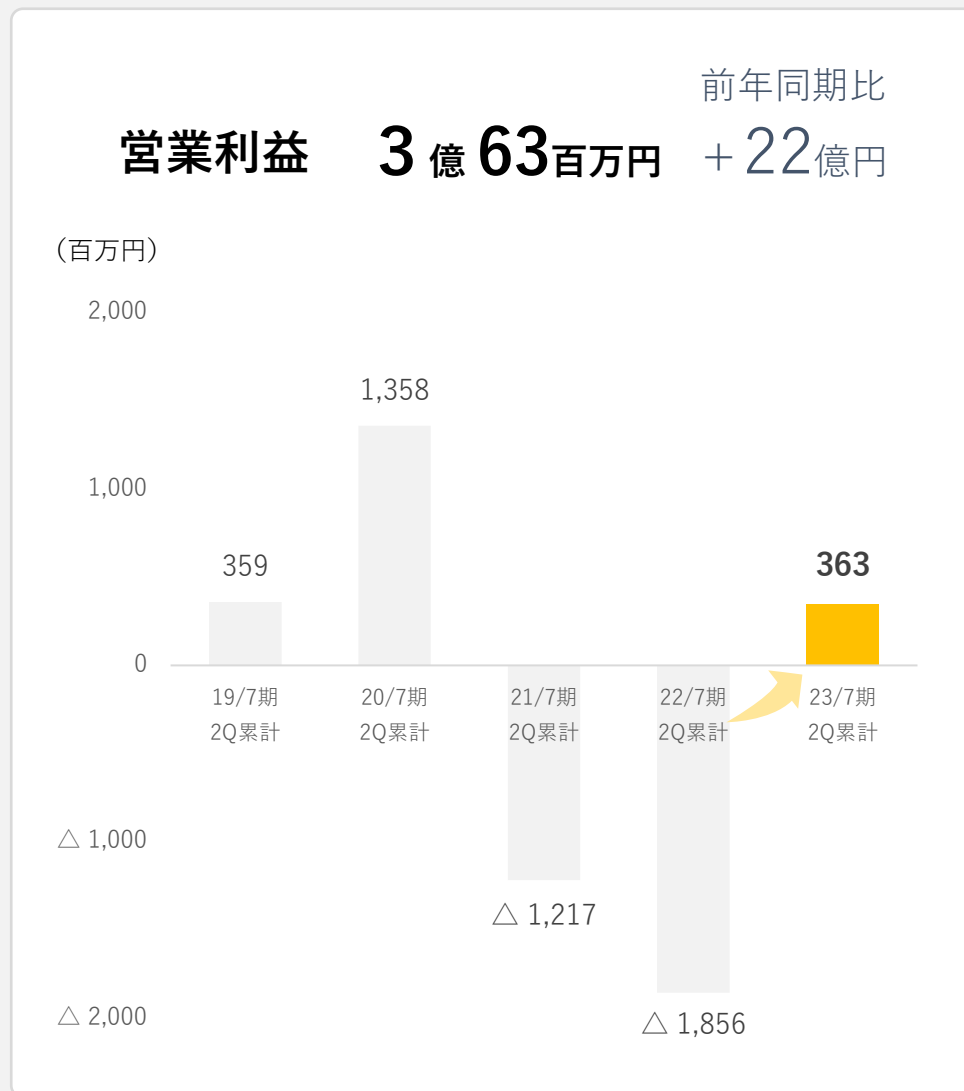
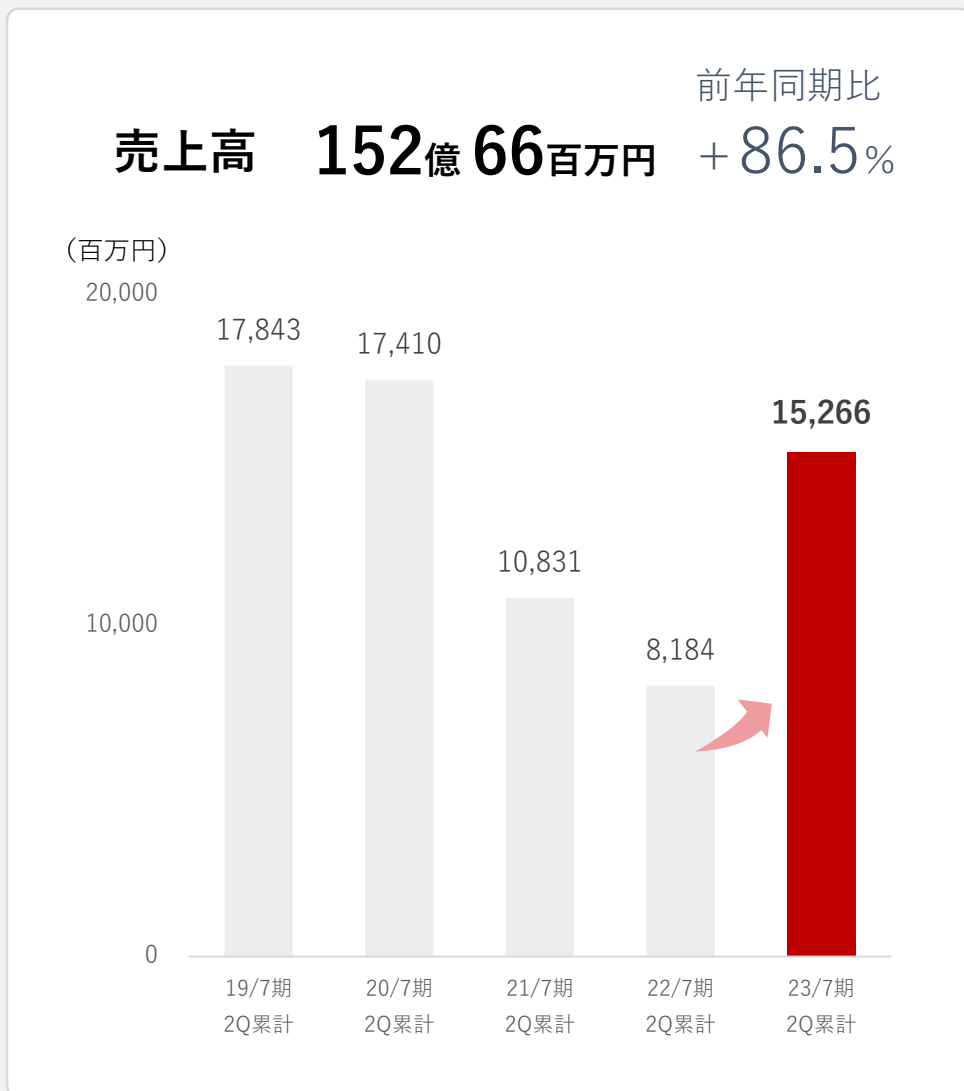


2023年7月期
第2四半期決算説明会

株式会社 鳥貴族ホールディングス
証券コード：3193

2023年7月期 第2四半期 連結決算ハイライト

店舗営業の正常化や売上回復に伴い前年同期比で増収増益（営業利益段階）



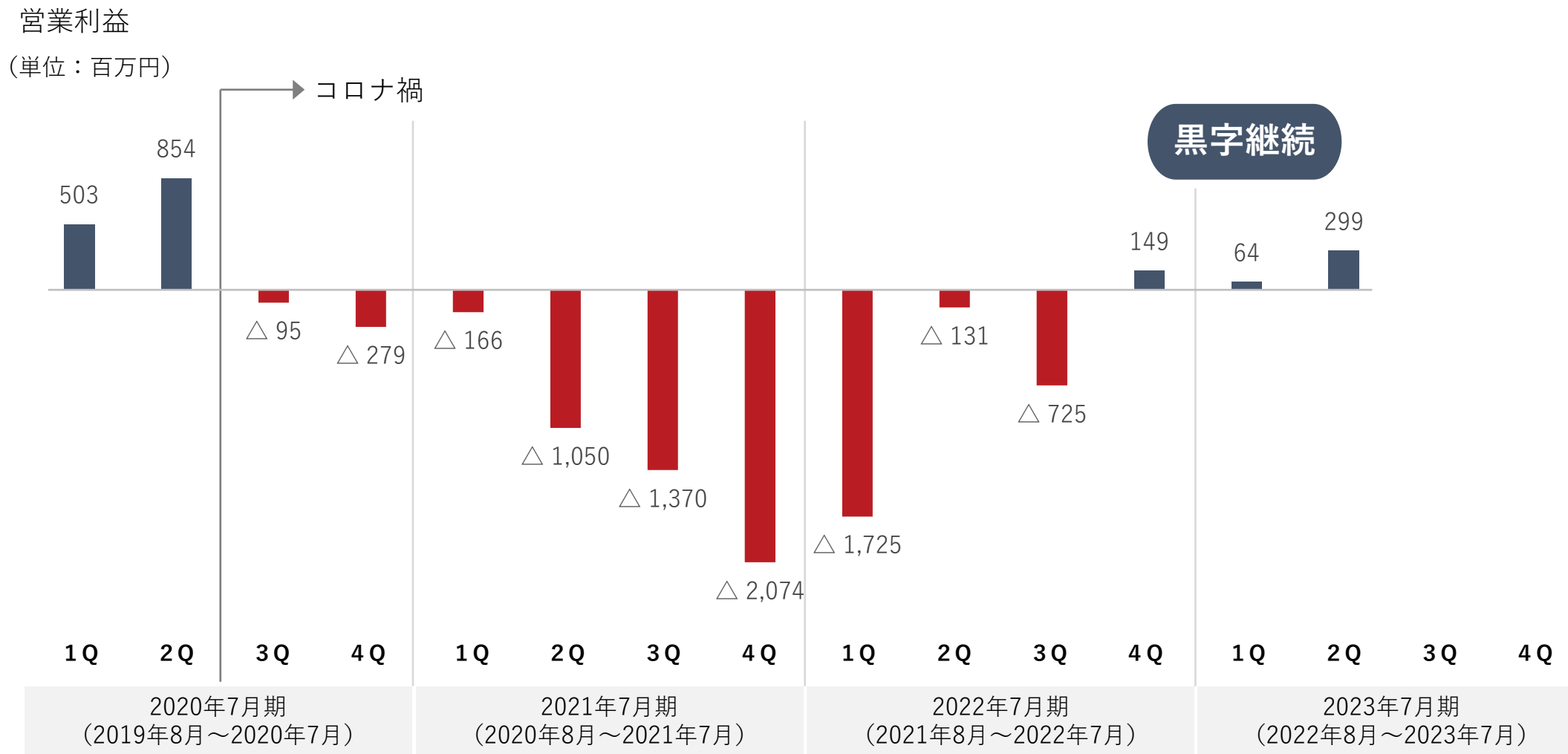
2023年7月期 第2四半期 決算概要 (連結)

店舗営業の正常化や売上回復に伴い前年同期比で増収増益(営業利益段階)、上期は業績予想に対して順調な進捗

(単位：百万円)	2022年7月期 2Q累計 実績 (売上比)	2023年7月期					
		2Q累計 実績 (売上比)	前年同期比		通期連結業績予想		
			増減率 (%)	増減額	金額	進捗率	
売上高	8,184	15,266	+86.5	+7,082	31,713	48.1%	1 <ul style="list-style-type: none"> 既存店売上高の回復 新規出店による増収 価格改定効果があるものの、原材料高・エネルギーコスト上昇により利益圧迫
売上総利益	5,723 (69.9%)	10,784 (70.6%)	+88.4	+5,061	—	—	
販管費	7,579 (92.6%)	10,420 (68.3%)	+37.5	+2,840	—	—	
営業利益	△1,856 (△22.7%)	363 (2.4%)	—	+2,220	857	42.4%	2 <ul style="list-style-type: none"> 当期においては、時短要請協力金は無し
営業外収益	3,175	13	△99.6	△3,162	—	—	
営業外費用	16	12	△24.8	△4	—	—	
経常利益	1,302 (15.9%)	364 (2.4%)	△72.0	△937	839	43.5%	3 <ul style="list-style-type: none"> TORIKI BURGERの店舗にかかる減損損失151百万円を計上 (業績予想に織り込み済み)
親会社株主に帰属する 当期純利益	808 (9.9%)	113 (0.7%)	△86.0	△694	265	42.7%	

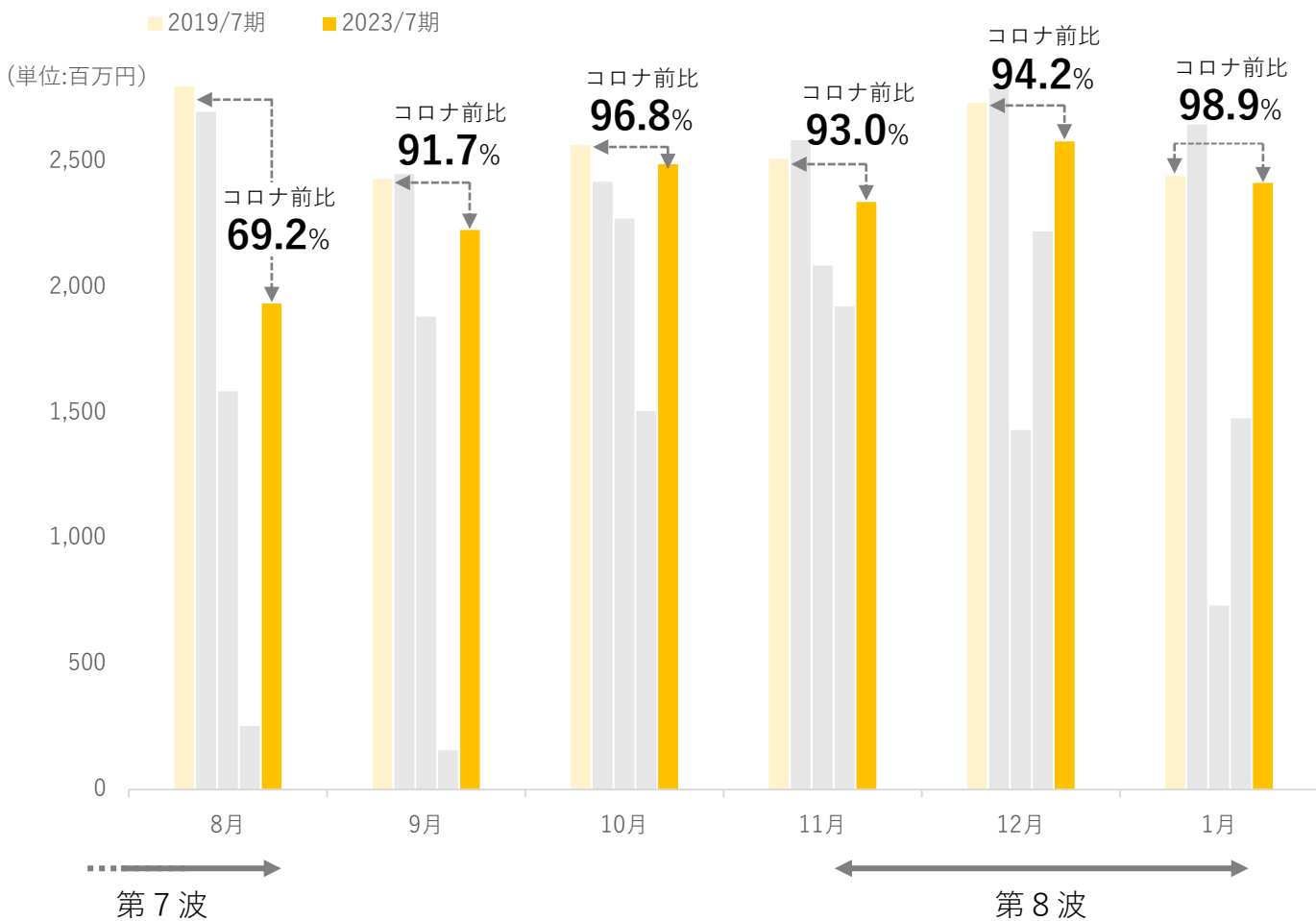
四半期ごとの営業利益推移

原材料高・エネルギーコスト上昇があったものの、既存店売上の回復や採算管理により営業黒字を継続



鳥貴族 既存店売上高推移 (2019年7月期比)

新型コロナ7波・8波の影響が見られたものの、既存店売上高は想定を超えて推移
商品展開やプロモーションも積極的に実施



「鳥貴族の本気はウラにある」
(WEBムービー※、こだわり訴求コンテンツ)
8月~



福岡初出店キャンペーン
10月



極 (きわみ) フェア
9月~12月



40万食限定 名古屋コーチン串焼
9月~11月



冬のほっこりフェア
12月~

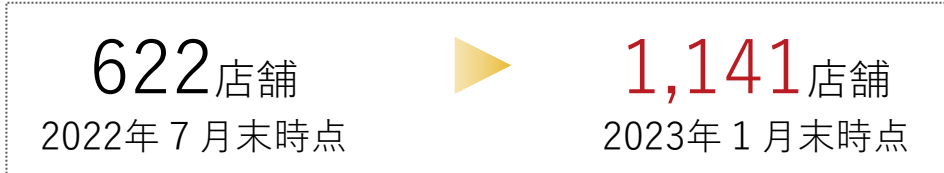


30万食限定 希少部位 鶏ハラミ
12月~1月

※ YouTube 鳥貴族公式チャンネルからご覧いただけます (<https://www.youtube.com/@user-qq4sm6lq5p>)

グループブランド店舗数

(単位：店舗)



◆ 新規出店

- 2022/9 鳥貴族 東京八重洲口店 (東京/直営)
- 2022/9 鳥貴族 新杉田店 (神奈川/TCC)
- 2022/10 鳥貴族 博多筑紫口店 (福岡/直営)
- 2022/10 鳥貴族 JR神戸店 (兵庫/直営)
- 2022/11 鳥貴族 秋葉原昭和通り店 (東京/直営)
- 2022/11 鳥貴族 本町店 (大阪/直営)

◆ 独立 (直営店の売却)

- 2022/8 鳥貴族 関目店 (大阪)

◆ 退店

- 2022/11 鳥貴族 アメリカ村店 (大阪/TCC)
- 2023/1 鳥貴族 堅田店 (滋賀/直営)

◆ M&A

- 2023/1 フランチャイザーとして「やきとり大吉」を展開するダイキチシステムを子会社化

				22年7月末 店舗数	2023年7月期 (累計)				23年1月末 店舗数	
					出店	独立	退店	M&A		
鳥貴族	直営	関西		93	2	-1	-1	-	93	
		関東		225	2	0	0	-	227	
		東海		68	0	0	0	-	68	
		九州		0	1	0	0	-	1	
	小計			386	5	-1	-1	-	389	
	TCC ^{*1}	関西		145	0	1	-1	-	145	
		関東		86	1	0	0	-	87	
		小計			231	1	1	-1	-	232
	合計				617	6	0	-2	-	621
	鳥貴族 パートナーズ ^{*2}		直営		3	0	-	0	-	3
TORIKI BURGER		直営		2	0	-	0	-	2	
やきとり大吉 他 (ダイキチシステム)		FC ^{*3}		-	-	-	-	515	515	
総計				622	6	0	-2	515	1,141	

※1 一般的なフランチャイズチェーンよりも強固なビジネスパートナーとしての関係性を確保することを目的として、限られた加盟店オーナーを「カムレード (同志)」と称しておりTCCは鳥貴族カムレードチェーンの略です。

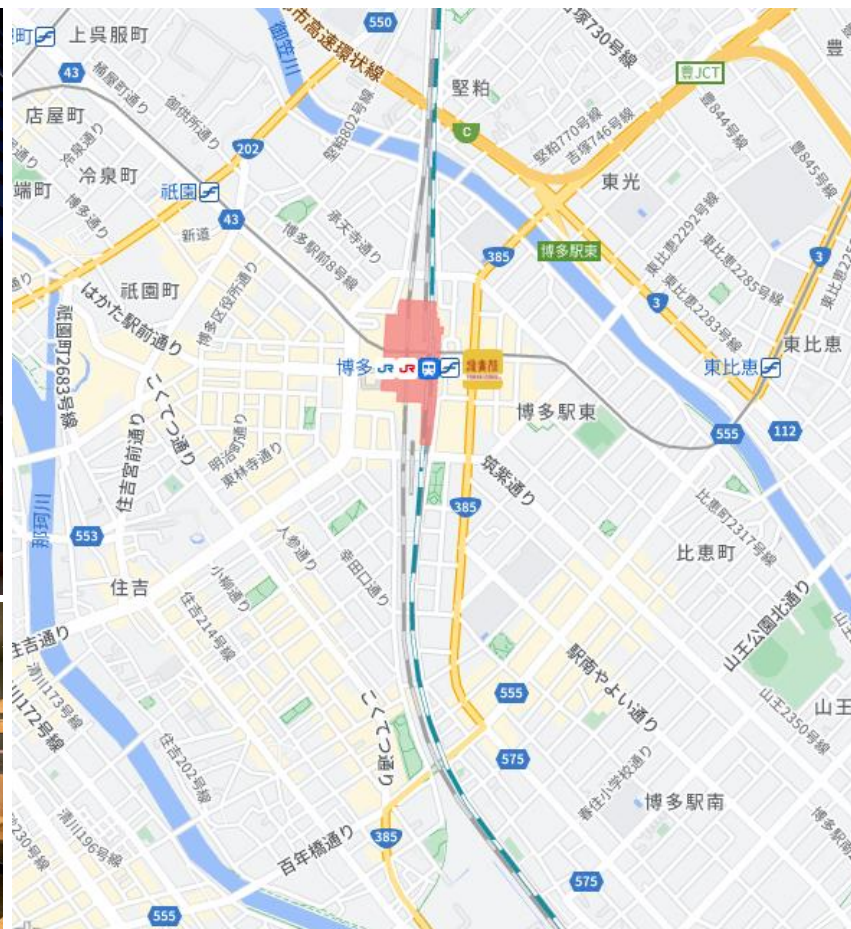
※2 新たな独立制度として開発中の小規模店舗モデルであり、現在は鳥貴族 大倉家 (大阪)、鳥貴族 中西家 (愛知)、鳥貴族 青木家 (東京) をテスト店舗として運営しています。

※3 FCとは、フランチャイズチェーンの略であり、ダイキチシステムの店舗はすべてフランチャイズ店舗です。

福岡県への初出店

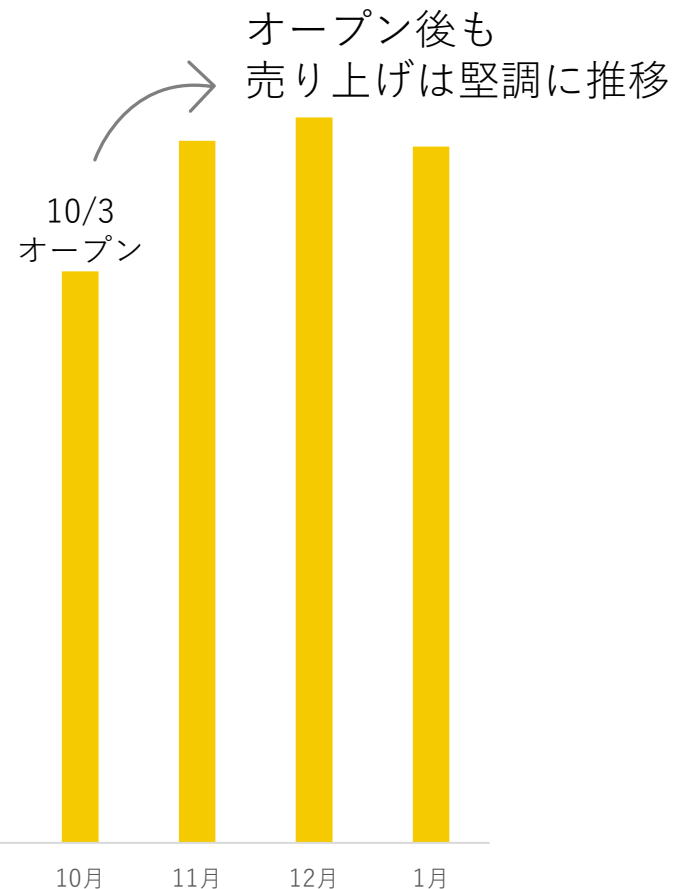
2022年10月 焼鳥屋 鳥貴族を福岡県に初出店

オープン日には多くのお客様にご来店いただき、非常に良いスタートとなった



鳥貴族 博多筑紫口店
福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目1-24 ギャラリーハカタ 地下1階

(鳥貴族 博多筑紫口店 売上高推移)

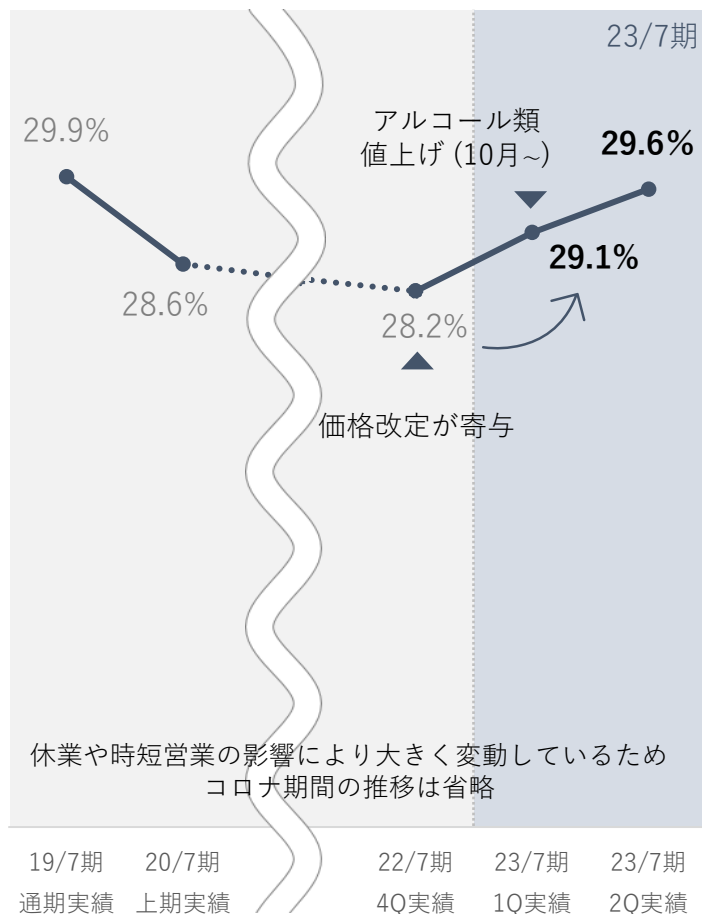


原材料費・エネルギーコスト高騰

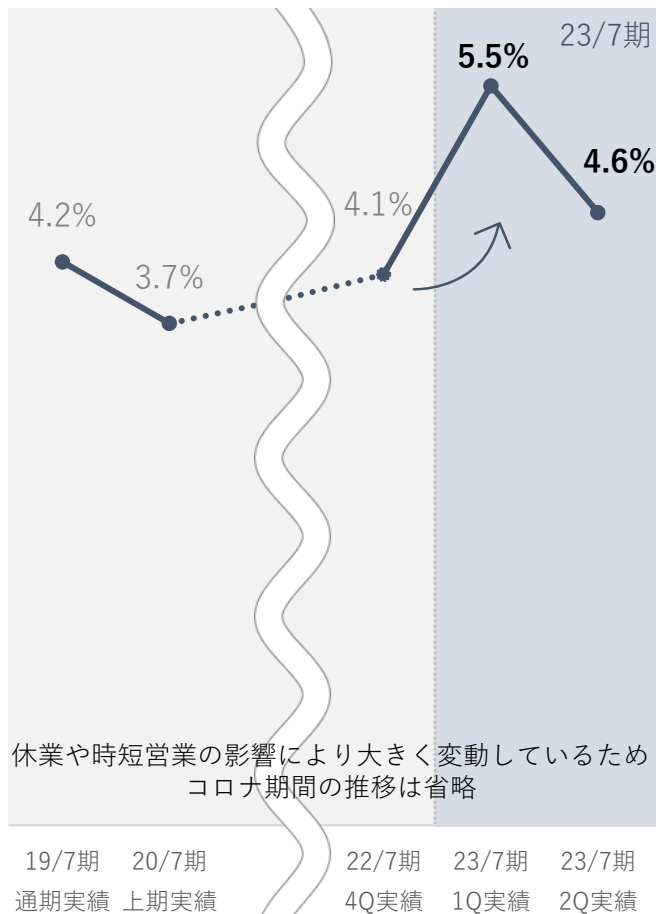
2022年4月28日からの価格改定により吸収できたものの、足元ではアルコール類の値上げ影響やエネルギーコストが想定を上回って推移

これらのコスト高騰を受け「焼鳥屋 鳥貴族」全店における価格改定を決定

売上原価（売上比）



水道光熱費（売上比）



価格改定（2023年5月1日～）

	改定前価格	改定後価格
フード・ドリンク	税抜319円 (税込350円)	税抜328円 (税込360円)
トリキ 晚餐会	税抜3,182円 (税込3,500円)	税抜3,273円 (税込3,600円)

※ 4月下旬オープン予定の「すすきの店」のみ、オープン当日から改定後価格での提供となります。

ダイキチシステムの株式取得（子会社化）

2023年1月4日付でダイキチシステム株式会社の株式取得（子会社化）が完了
当第2四半期において、同社1月度実績から連結開始（のれん 362百万円）



ダイキチシステム株式会社

直営店を有さない純粋なフランチャイザーとして、全国500店舗超の規模で「やきとり大吉」のフランチャイズ網を有する
住宅街等の小～中商圈において長年にわたり地域のお客様やフランチャイズオーナーから高い評価を得ている

本件の狙い

- 出店立地・主要顧客層が異なるため「鳥貴族」との共存共栄は可能
- 本件により小～中商圈における全国的な店舗網を確保できるほか、焼鳥飲食店の運営に係るあらゆる共通点、同社のフランチャイズノウハウ、両社の独立制度等を活かすことにより、双方の事業拡大を狙う



ブランド力(均質・知名度等)を活かしたチェーン店

生業経営の地域密着店

繁華街/駅前の中～大規模商圈

住宅地/郊外の小～中規模商圈

TORIKI BURGERの減損

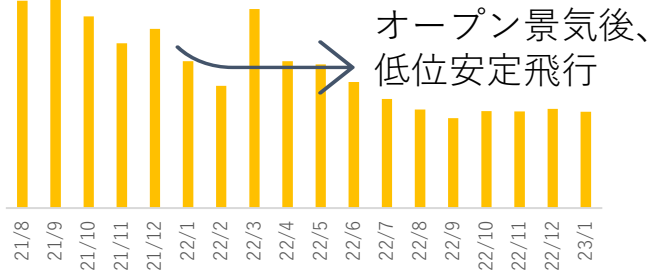
TORIKI BURGERの固定資産について減損損失を計上（業績予想に織り込み済み）

チキンバーガー業態を確立・展開していく中長期的な方針に変更はなし

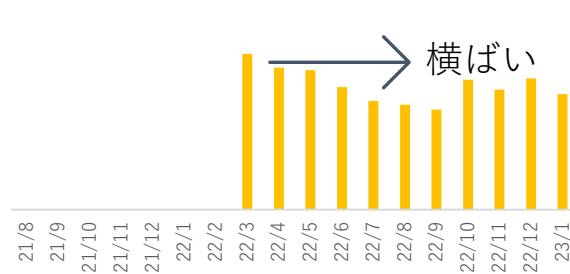
特別損失の内容

- 当初想定していた売上高に満たない水準での推移が継続
- 業態開発の途上ではあるものの業績が当初事業計画に満たないことを考慮し、会計ルールに則って減損
- TORIKI BURGERの固定資産（店舗設備等）について、減損損失151百万円を計上

大井町店（1号店）売上推移



渋谷井の頭通り店（2号店）売上推移



今後の方向性

- チキンバーガー業態を確立・展開していく中長期的な方針に変更は無し
- 既存モデルでの新規出店は保留、ビジネスモデル・ブランドの見直しに着手
- 3号店は見直し後モデルでの出店を目指す



連結貸借対照表／連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)	2022年 7月期末	2023年 1月期末	増減
流動資産	10,294	10,055	△238
(うち現金預金)	8,657	8,274	△383
固定資産	8,172	8,507	+ 335
資産合計	18,466	18,563	+ 96
流動負債	5,743	5,307	△436
(うち有利子負債)	1,040	954	△86
固定負債	6,385	6,855	+ 469
(うち有利子負債)	5,213	5,337	+ 124
負債合計	12,129	12,162	+ 32
純資産合計	6,337	6,400	+ 63
自己資本比率	34.3%	34.5%	+ 0.2pt

(単位：百万円)	2022年7月期 2Q累計実績	2023年7月期 2Q累計実績
営業キャッシュ・フロー	4,250	169
税引前当期純利益	1,302	252
減価償却費	435	373
のれん償却費	—	3
減損損失	—	151
売上債権の増減額	△138	△156
仕入債務の増減額	462	246
法人税等の支払額	△181	△426
その他	+2,369	△275
投資キャッシュ・フロー	△154	△503
有形固定資産の取得による支出	△103	△297
子会社株式の取得による支出	—	△155
その他	△51	△50
財務キャッシュ・フロー	△795	△6
長期借入れによる収入	—	600
長期借入金の返済による支出	△668	△518
リース債務の返済による支出	△126	△42
配当金の支払い	0	△45
その他	△1	△1
現金及び現金同等物の期末残高	8,116	8,379

2023年7月期 通期連結業績予想

2Q以降期末にかけて事業環境が徐々に回復していく想定のもと、通期業績予想は下期偏重となっているため上期進捗としては順調

足もとにおける売上の回復基調やダイキチシステムの連結開始による寄与があるものの、原材料費やエネルギーコストの上昇を踏まえると業績予想どおりの着地見込みのため、業績予想は据え置き

(単位：百万円)	2023年7月期 2Q累計 実績	2023年7月期 通期 業績予想	進捗率
売上高	15,266	31,713	48.1%
営業利益	363	857	42.4%
経常利益	364	839	43.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	113	265	42.7%

配当予想／株主優待

株主還元方針：成長戦略への内部留保を優先するが、安定的かつ継続的な配当を実施

配当の状況

	2021年7月期		2022年7月期		2023年7月期	
	中間	期末	中間	期末	中間	期末
配当性向	—		4.1%		35.0%	
一株当たり配当金	4円	0円	0円	4円	4円	4円

株主優待制度※

ご所有株式数	株主優待
100株～299株	年間2,000円相当の電子チケット (中間と期末にそれぞれ1,000円相当を送付)
300株～499株	年間6,000円相当の電子チケット (中間と期末にそれぞれ3,000円相当を送付)
500株以上	年間10,000円相当の電子チケット (中間と期末にそれぞれ5,000円相当を送付)



※ 2023年4月贈呈分より電子チケット化します。内容は当社WEBサイトをご確認ください。
https://torikizoku-holdings.co.jp/wp-public/wp-content/uploads/2023/01/torikizoku_20230123.pdf

2023年7月期 グループ重点項目

**2023年7月期
グループ重点項目**

1

主軸事業の再成長（鳥貴族）

- 既存店売上回復へ向けたマーケティング活動
- 新規出店による拡大
- 海外進出準備の前倒し
- 新独立制度の運用開始

2

新規事業育成（TORIKI BURGER）

3

ダイキチシステム株式会社の子会社化

4

ESGに関する取り組み

1 主軸事業の再成長（鳥貴族）／既存店売上回復へ向けたマーケティング活動

焼鳥屋 鳥貴族の公式アプリ「鳥貴族アプリ」をリリース

- アプリでは、店舗予約をはじめ、アプリ内で利用可能なトリキポイントでギフト券が当たるガチャや食べた串の本数で「トリッキー」を育てるコンテンツなどを提供
- 楽しさを提供し、来店やファン化のきっかけづくりを図る



「鳥貴族」アプリ ダウンロード方法

アプリストアから「鳥貴族公式アプリ」で検索、または下記URLよりダウンロードページに遷移します。

AppStore :
<https://apps.apple.com/jp/app/%E9%B3%A5%E8%B2%B4%E6%97%8F%E5%85%AC%E5%BC%8F%E3%82%A2%E3%83%97%E3%83%AA/id6444852542>

GooglePlay :
<https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.co.torikizoku>

1 主軸事業の再成長（鳥貴族）／既存店売上回復へ向けたマーケティング活動

焼鳥屋 鳥貴族の公式アプリ「鳥貴族アプリ」をリリース

1 近くの店舗を探して予約できる「店舗検索」

アプリから鳥貴族各店舗の来店予約が可能
当日のご予約や、前日までの予約の場合は「トリキ晩餐会（2時間制）」の予約もOK

2 貯めたポイントで「ガチャ」を回してギフト券を獲得

<トリキポイント獲得方法>

- 1日1回ルーレットを回してポイントをゲット
- クエスト（アンケート回答、友達招待、指定商品の注文等）を達成することでポイントをゲット



<ポイントを使用してガチャを回す>

- 貯めたトリキポイント100ポイントにつき1回、ガチャを回すと店舗で使えるギフト券（10,000円分、1,000円分、300円分）が抽選で当たります



3 お誕生日にはギフト券をプレゼント

アプリに登録されたお誕生日には、店内飲食時に利用可能なギフト券がアプリに配信されます

4 店舗での飲食で「トリッキー」を育てる

店舗でアプリを提示して食べた串の本数を記録することで、串の本数に応じて「トリッキー」を育てることができます



1 主軸事業の再成長（鳥貴族）／既存店売上回復へ向けたマーケティング活動

2023年3月から1年を通じて「日本の一次産業感謝！応援メニュー」を展開

- 鳥貴族の成長を支えていただいている日本の一次産業への感謝と、今後も共に歩んでいただきたいという思いを込めて、2023年3月より、それぞれの産業の食材にスポットを当てた期間限定メニューを提供
- 期間限定メニューの展開を行いながら、公式ホームページ等で生産者や使用食材のストーリーを紹介、国産食材の魅力を伝え、消費喚起へとつなげる



3～5月：農業
旬の野菜を使用したメニュー

6～8月：漁業
希少な白姫えびを含めた魚介メニュー

9～11月：林業
きのこ等の山の幸を使用したメニュー

12～2月：畜産業
チーズ等の畜産物を使用したメニュー

1 主軸事業の再成長（鳥貴族）／既存店売上回復へ向けたマーケティング活動

第1弾 「農業」にスポットを当てた期間限定メニューを3月9日より提供開始

- 国内産のみずみずしいキャベツを使用した「春採れキャベツの豚バラ回鍋肉串」や旬のニラを使用した「鶏レバニラ串」「パワーラーメン」などが登場



春採れキャベツの豚バラ回鍋肉串



旬のニラを使った鶏レバニラ串



旬のニラたっぷりパワーラーメン

1 主軸事業の再成長（鳥貴族）／新規出店による拡大

2023年7月期は前期比で新規出店数の増加を計画、直営店11店舗、TCC11店舗の新規出店を目指す
 既存エリアのみならず国内未進出エリアへの展開を開始するとともに、北米への進出準備を前倒しで再開

既存エリアでの厳選した堅実な出店

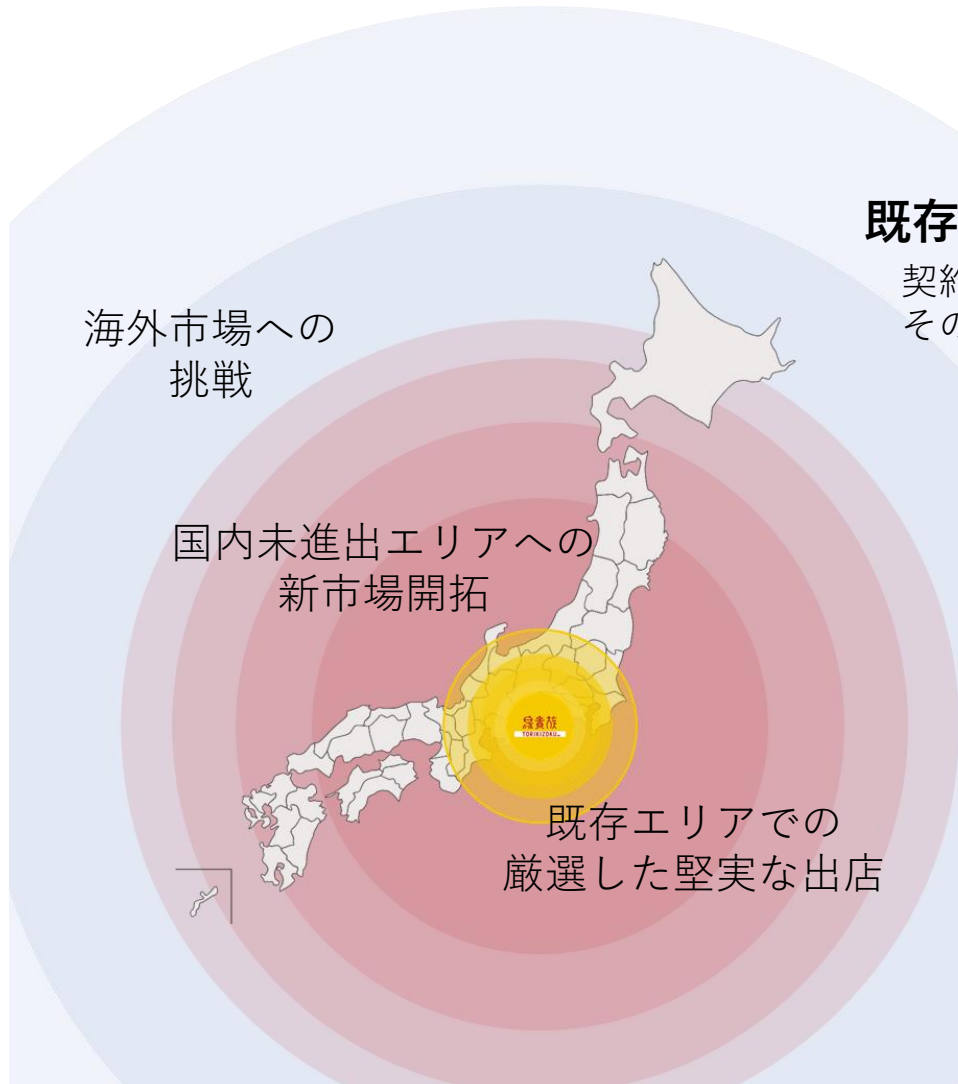
契約期間満了やビルの建て替えなど「撤退」以外の要因で退店し、その後空白となった立地や物件待ちの有望立地などに狙いを定めた出店

国内未進出エリアへの新市場開拓

博多や仙台、札幌などの地方都市をはじめ、北海道、東北、北陸、中四国、九州、沖縄といった未進出エリアへの出店

海外市場への挑戦

コロナ禍の影響もあり、新規事業開発を優先したため一旦保留としていたが北米への進出にも挑戦していく



1 主軸事業の再成長（鳥貴族）／新規出店による拡大

既存エリアでの厳選した堅実な出店

契約期間満了やビルの建て替えなど「撤退」以外の要因で退店し、その後空白となった立地や物件待ちの有望立地などに狙いを定めた出店

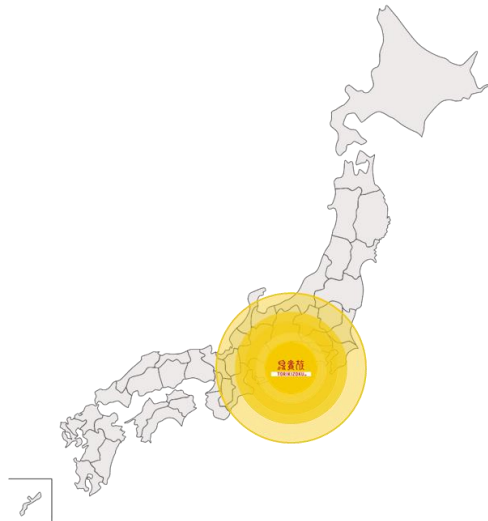
《本日時点で決定済の下期の新店舗》

4 / 6 東京「新宿小滝橋通り店」（直営）

東京都新宿区西新宿 7 - 10 - 18 小滝橋パシフィカビル 2 階

4 / 20 静岡「静岡南口店」（直営）

静岡県静岡市駿河区南町 6 - 1 南町第一ビル 1 階



1 主軸事業の再成長（鳥貴族）／新規出店による拡大

国内未進出エリアへの新市場開拓

博多や仙台、札幌などの地方都市をはじめ、北海道、東北、北陸、中四国、九州、沖縄といった未進出エリアへの出店。直営店・TCC店の両輪でこれまでの3商圈以外の道・県への拡大を進める

《本日時点で決定済の下期の新店舗》

2/4 岡山「岡山本町店」（TCC）

岡山県岡山市北区本町5-7 本町G-Kobashi-Bldg 2階

2/13 福岡「ウエストコート姪浜店」（直営）

福岡県福岡市西区内浜1-7-3 ウエストコート姪浜 1階E-1

2/15 沖縄「美栄橋店」（TCC）

沖縄県那覇市牧志2-18-4 パレット牧志ビル 1階

3/22 広島「広島えびす通り店」（TCC）

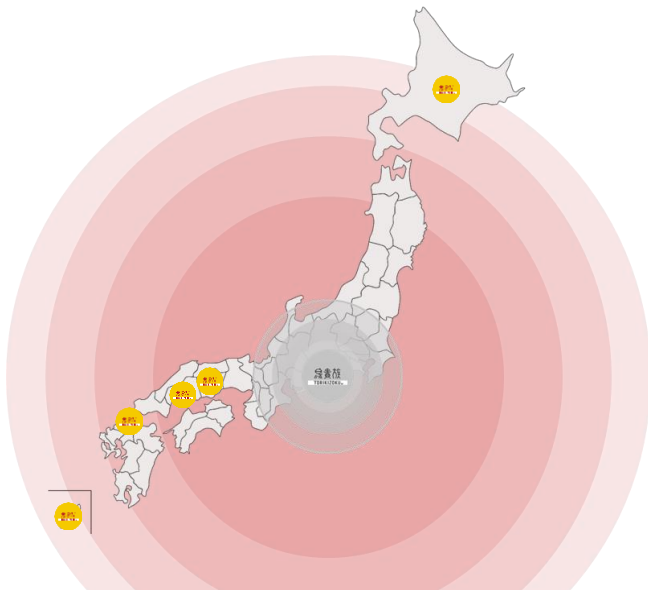
広島県広島市中区堀川町4-20 タカタアレー301

4/13 福岡「天神親不孝通り店」（直営）

福岡県福岡市中央区舞鶴1-1-3 リクルート天神ビル 2階

4月下旬 北海道「すすきの店」（TCC）

北海道札幌市中央区南4条西3-1 13 第3グリーンビル 1階



1 主軸事業の再成長（鳥貴族）／海外進出準備の前倒し

海外市場への挑戦

米国進出へ向けた活動を加速させるべく、当社100%子会社を米国に設立することを決議



×

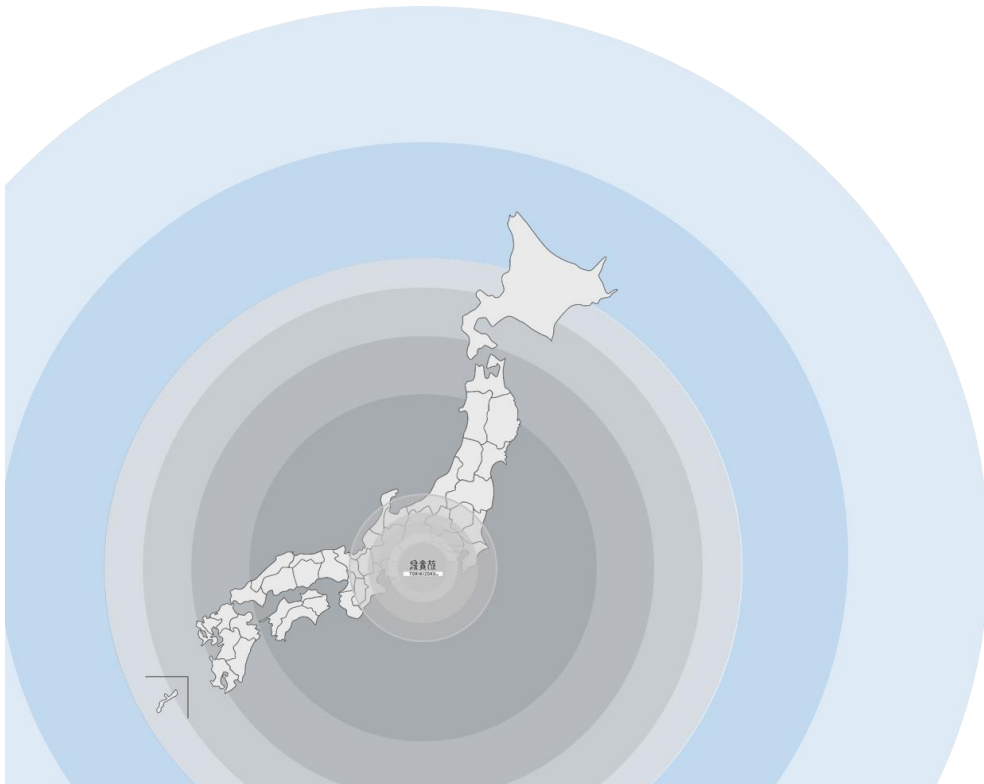


商号 TORIKIZOUKU USA INC. (予定)
所在地 米国 カリフォルニア州 ロサンゼルス (予定)

代表者 CEO/President
清宮 俊之
(当社 取締役COO)



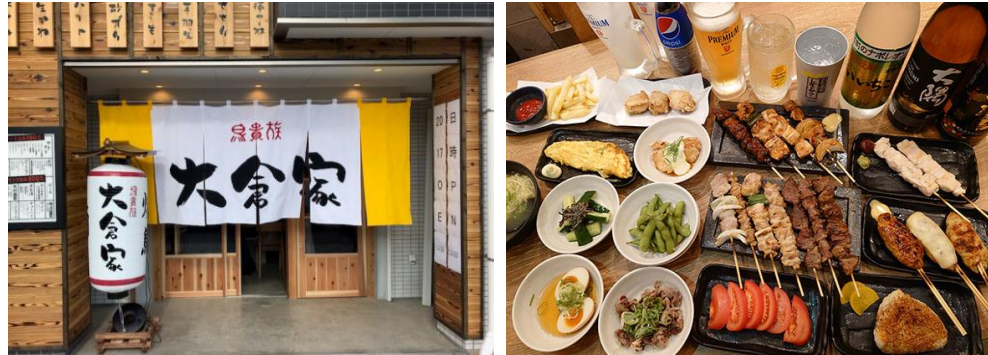
事業内容 飲食店の企画・運営
資本金 3,000,000米ドル (約390百万円)
設立決議日 2023年1月27日
設立年月日 2023年4月 (予定)
出資比率 当社100%



1 主軸事業の再成長（鳥貴族）／新独立制度の運用開始

社員独立支援制度の開始に向けた準備を推進

- 規程・契約等を含めた制度設計
- 制度に関する従業員向け説明の実施準備



2 新規事業育成（TORIKI BURGER）

- 前述のとおりビジネスモデル・ブランドの見直し
- 見直し後モデルでの3号店出店を目指す



3 ダイキチシステム株式会社の株式取得（子会社化）

- 引き続き、両社協働での統合作業（PMI）を推進
- 鳥貴族への業態変更などは行わず、引き続き大吉ブランドの成長に向けた取り組みを推進



4 ESGに関する取り組み

グループの持続的な成長および中長期的な企業価値の向上を図る観点から、継続してESGに関する取り組みを実施する

前期における主な活動

指名・報酬委員会 **G**

2021年12月1日付で設置後、2022年7月までに計7回開催
役員報酬制度の在り方を中心に審議を実施
(委員の過半数及び委員長は社外取締役)

CDP 気候変動への初回答 (2022年7月) **E**

ESG情報の「E (環境)」に関する取り組みを前進させるべく、CDPへの初回答を実施 (評価スコア: **C**)



CDP

英国に本拠地を置く国際環境NGO。企業等の環境情報プラットフォームを運営し、企業による回答をもとに評価を行う。評価は、多岐にわたる質問で構成される質問書をベースにA~D-までの8段階

今後の主な取り組み課題

- 取締役会の多様性の確保
 - ✓ 新たに社外取締役を選任
- 経営陣の指名・報酬等に係る取締役会の機能強化
 - ✓ 指名・報酬委員会を引き続き頻度高く開催し、経営陣指名の在り方を中心に審議 (上期計6回開催)
- TCFD対応
 - ✓ TCFD開示へ向けて取り組み中
- 英文開示
 - ✓ 第1四半期決算短信から英文開示を開始



社外取締役 長岡 香江

参考資料

社名	株式会社 鳥貴族ホールディングス
設立	1986年9月19日
上場市場	東証プライム（証券コード：3193）
本社	大阪市浪速区立葉1丁目2番12号
代表者	代表取締役社長CEO 大倉 忠司
資本金	1,491,829千円（2022年7月末現在）
グループ会社	株式会社鳥貴族、株式会社TORIKI BURGER、 ダイキチシステム株式会社
グループ 従業員数	従業員数 861名（2022年7月末現在） （外、平均臨時雇用者数※ 1,919名）



※ 平均臨時雇用者数は、1日の労働時間を8時間で換算した年間平均の人数です。

グループブランド情報



焼鳥屋 鳥貴族

全品均一価格の焼鳥屋。

使用する食材は国産にこだわり、一本一本丁寧に手で串打ちした焼鳥を、手作りのタレで焼き上げてお客様に提供。価格・商品・接客・内装にこだわり、低価格・高価値なサービスを追求し、一過性の流行に左右されない一貫した強い店舗づくりを行っております。



鳥貴族 パートナーズ

小型の店舗で自分の店を持ちたい、との社員の声にこたえるための新独立制度店舗。既存の直営3店舗はテスト店舗の位置づけ。



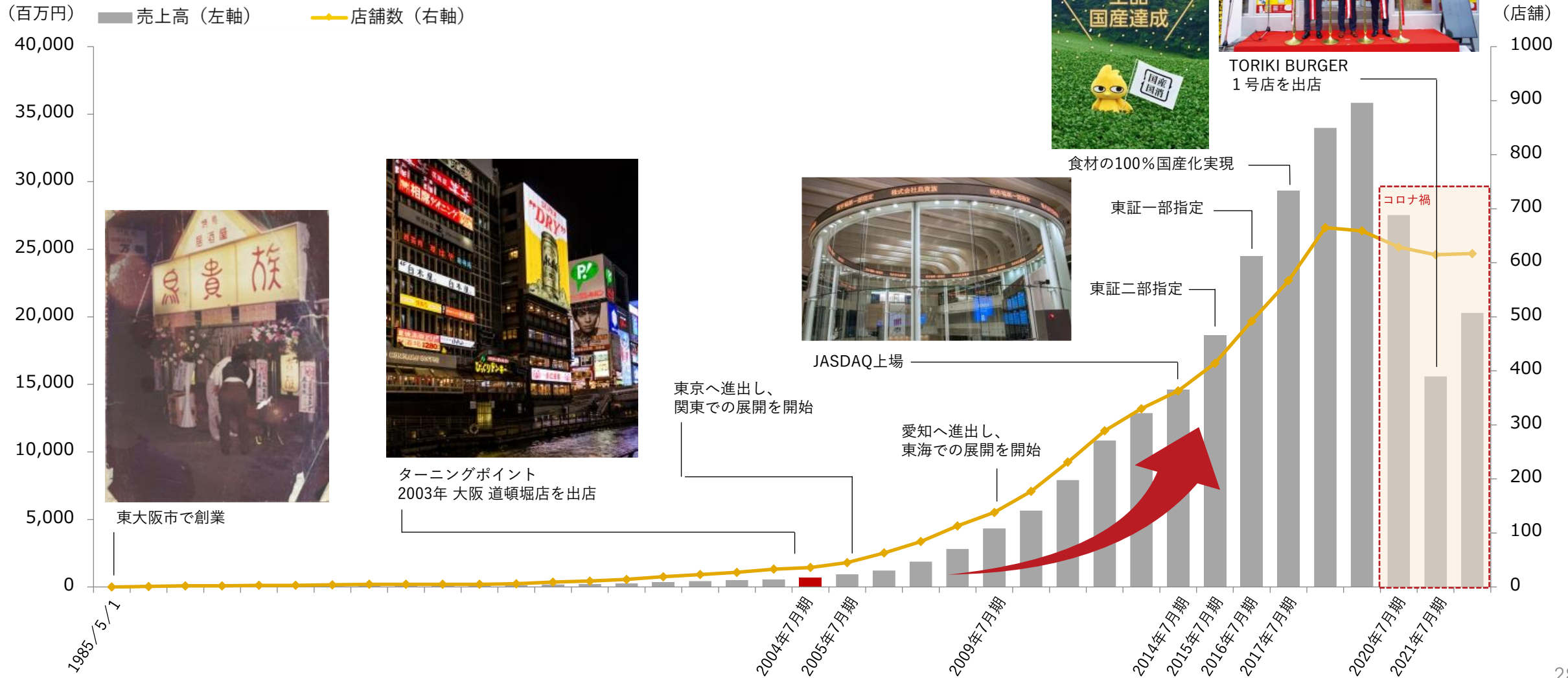
TORIKI BURGER

鳥貴族ホールディングスグループ初の新ブランドとして開発した国産チキンバーガー専門店。国産食材にこだわった高品質なチキンバーガーをリーズナブルな価格で提供しております。



やきとり大吉

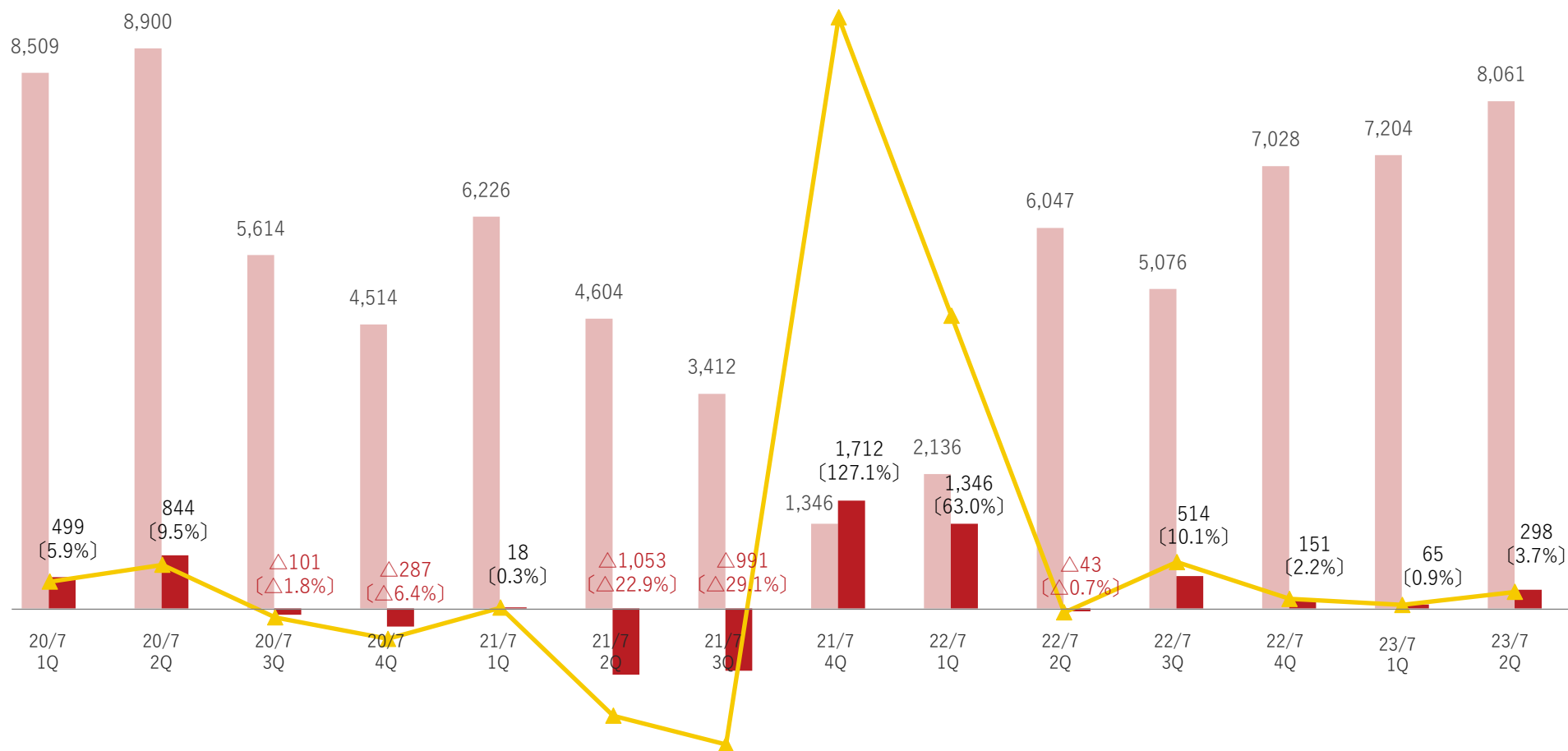
北海道から沖縄まで全国津々浦々に展開する焼鳥店。すべての店舗が独立経営者によって運営されており、店主自ら新鮮な食材を仕入れ、串を刺し、お客様の目の前で調理するスタイルを貫いています。変わらない美味しさとくつろいでいただける空間を追求し、各店舗が地域に根差した独自の店づくりに努めています。



四半期業績の推移

(単位：百万円)

売上高 経常利益 経常利益率



注意事項

- この資料は投資家の参考に資するため、株式会社鳥貴族ホールディングス（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものであり、当社株式の購入を勧誘するものではありません。
- 当資料に記載された内容は、発表日時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。
- その他の掲載内容に関しても細心の注意を払っておりますが、不可抗力により情報に誤りを生ずる可能性もありますのでご注意ください。
- 無断での複製又は転用等を行わないようお願いいたします。

お問い合わせ先

株式会社鳥貴族ホールディングス IR担当

TEL 06-6562-5333

<https://torikizoku-holdings.co.jp/contact/>